

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和特別支援学校（知的障がい部門）

学校番号 (55)

評価実施日		令和3年2月12日（金）					
委員	氏名	所属等	備考	委員	氏名	所属等	備考
	高橋 信雄	学校評議員			谷口 栄子	P T A 会長	肢体不自由部門
渡邊 展也	学校評議員		砂田 陽子	P T A 副会長	肢体不自由部門		
岡上 昌造	学校評議員		川畑 静香	P T A 会長	知的障がい部門		
岩瀬 憲治	学校評議員		濱崎 暁代	P T A 副会長	知的障がい部門		
大野 哲寛	学校評議員		寺坂喜久子	P T A 副会長	知的障がい部門		
隅田恵美子	P T A 会長	聴覚障がい部門	野川かをる	P T A 副会長	知的障がい部門		
酒井 康子	P T A 副会長	聴覚障がい部門	倉川 久美	P T A 副会長	知的障がい部門		

評価・提言等	提言に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none">Wi-Fiが配備されたことで、授業や学校行事において動画配信やWeb会議を行うなど、ICTを効果的に活用した教育活動が実践されている。コロナ禍の厳しい現状であるが、先生方が工夫して児童生徒の実態に合った授業が行われている。 <p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none">気持ちよい挨拶や朝の清掃活動等の指導が行き届いている。コロナ禍で対外的な取組が制限されていたが、感染予防対策を通じて、他者との関わり方を学ぶ機会をさらに充実させてほしい。 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none">進路に関する研修によって教師の力量が押し上げられている。生徒や保護者に対しては進路だよりや進路の手引き等の各種資料配付や情報提供を通して、個のニーズに応じた進路実現が図られている。 <p>(4) センターの機能</p> <ul style="list-style-type: none">南予唯一の特別支援学校として、近隣学校への相談支援や研修支援など、センター的機能を充分果たしている。新型コロナウイルスの影響で、相談件数自体は減ったが、ホームページ上で積極的な情報発信がなされている。 <p>(5) 学校安全</p> <ul style="list-style-type: none">様々な災害や場面を想定した各種訓練が実施されるとともに、緊急時対応マニュアルの改善も図られていた。遊具等の危険箇所も含め、防災や学校安全に関連した掲示・表示等が工夫されていた。 <p>(6) 働き方改革</p> <ul style="list-style-type: none">今年度は新型コロナウイルスの影響で、学校の教職員の方々の負担が増大し、働き方改革に逆行してしまった面がある。	<ul style="list-style-type: none">タブレット端末等のICT機器を今後さらに効果的に活用した分かる授業実践を行う。また、リモートでの他校交流をより一層促進し、児童生徒が教室にいながら、さまざまな刺激を受けることができるよう努める。児童生徒の提案を積極的に受け入れ、自主的で創造的な取組が増えるよう、教職員が連携して個に応じた指導に努める。校外学習を見直し、多様な活動ができるよう内容を工夫する。保護者のニーズに応じた進路情報を発信するとともに、進路に関する研修を充実させる。関係機関と連携し、教師の指導力を向上させ、技能検定対策を強化する。外部支援を行う特別支援教育コーディネーターの高齢化が進行しているため、市町の教育相談や連携協議会で支援や相談に応じることができる人材の育成と専門性の向上に努める。より実践的な訓練を行うとともに、緊急時対応マニュアルを今後も改善していく。施設・設備・遊具については、定期及び災害後の点検を確実にし、安全安心な環境の保持に努める。完全退勤日やノー残業デーの着実な実施と、学校行事・会議・委員会の見直しやスリム化によって、ワークライフバランスの実現を図る。